

いわき市感染症発生動向調査

令和8年第5週(1月26日～2月1日)

○定点把握対象疾患(報告数が多い上位3疾患)

順位	疾患名	定点あたり患者報告数	最近の傾向
1	インフルエンザ	51.56	増加
2	感染性胃腸炎	5.20	横ばい
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.60	増加

※その他の定点把握対象疾患の報告数については、福島県感染症発生動向調査報告(ホームページ内リンクあり)からご確認ください。

○今週のトピックス

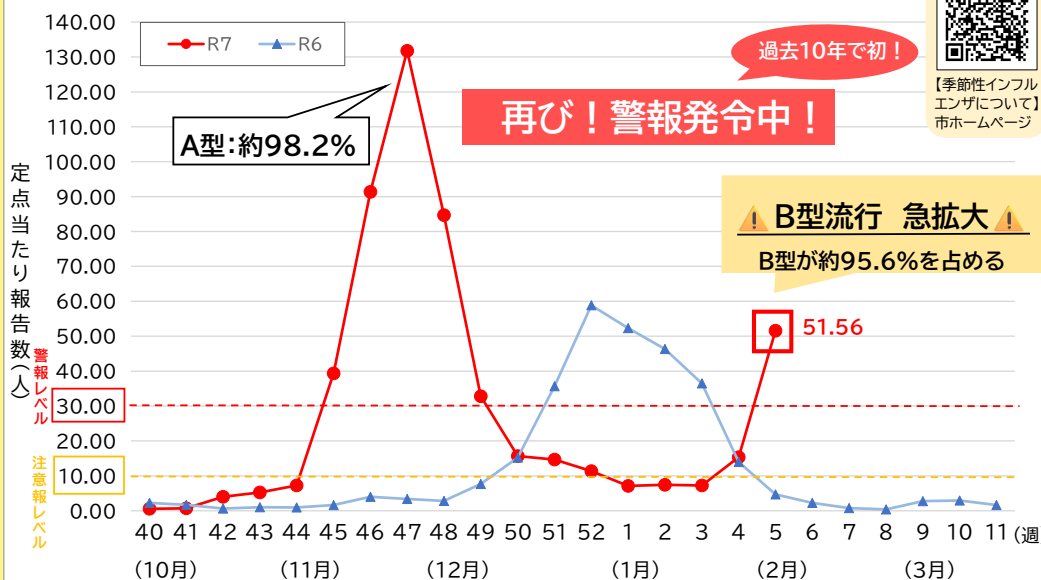


インフルエンザ 再び「警報」発令中！！



- ◆ 今シーズン1回目の警報は令和8年第1週(12/29～1/4)に解除となりましたが、**第5週定点あたりの報告数が30を上回ったため、再び警報が発令されています！！**
- ◆ 警報の再発令は、**過去10年で初めてです。**
- ◆ 市内では、流行の中心がインフルエンザA型からB型に移行し、第5週では**B型の報告数が95.6%**を占めています。今シーズンで既に罹った方も**再度、感染する恐れ**があります。
- ◆ 今週は、学年・学級閉鎖の報告もあり、引き続き基本的な感染対策が必要です。

いわき市インフルエンザ報告数



感染対策のポイント



◆水痘(みずぼうそう)に注意◆

市内で前週に比べ増加し、全国でも例年より多い状況です。

主に1歳～小学校低学年の子どもがかかりやすい病気です。

全身に赤い発疹や水ぶくれが現れ、多くはかゆみを伴います。

空気感染しますので、登園・登校前に身体のチェックを行い、異常があれば早めの受診をお願いします。

◆新型コロナウイルス感染症に注意◆

いわき市の新型コロナウイルス感染症に係る定点医療機関あたりの報告数の推移

